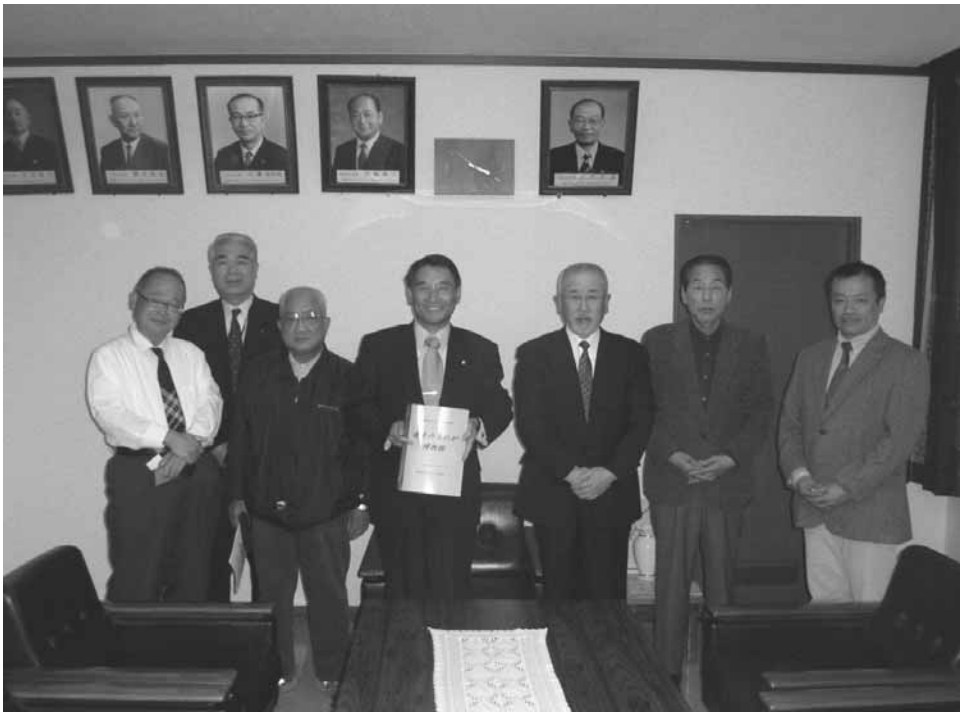
鹽竈海道瓦版

創刊号

発行
鹽竈海道まちづくり研究会 広報部
塩竈市宮町3-26
塩竈市役所建設部
土木課建設係内
TEL022-364-1118

提言書を提出



左から早坂氏、加藤助役、菅原氏、佐藤市長、丹野会長、阿部氏、佐々木氏

これまでのコンセプトを踏襲

平成17年11月16日、9回にわたる会合の内容を取りまとめた提言書を塩竈市長へ丹野会長より手渡された。

昨年4月に立ち上げられた「鹽竈海道まちづくり研究会」は、昨年より本格的工事着手となった宮城県事業「北浜沢乙線道路改良工事」の本町・宮町工区の一般市民13名により構成され、かつては水路により分断されてきた地域に新たに道路が出来ることにより、どのように活かしていくかを主眼に研究を重ねてきた。

受理にあたって佐藤市長は「よく景観十年、風景百年、風土千年といわれます。これまで多々ある反省点を活かし、地域の皆さんと歴史文化を色濃く残した道作りを進めて行きたいと考えております。」と述べ、引続き県と提言内容について協議を行い、年度末には

市民の皆様に回答したいと話した。

市の「顔」としてのみちづくり

北浜沢乙線は平成16年に西町地区が完成したが、平成17年度より本格的に着手された本町・宮町地区は、JR本塩釜駅や国道45号により間近になり、西町地区よりさらに重要度が高まることが予想される。

研究会では様々な案が出されたが、西町からの流れを途中で寸断することは出来ないと判断、平成5年に塩竈市で作成した「道そのものが博物館」の8つの整備目標を我々なりに解釈し、7項目で表現した。

星酒屋前から西町を望むイメージパース

①「歴史地区」としてのみちづくり
長い歴史をわかり易く表現。西町からの連続する施設は途中で途切れてちぐはぐにならないようやり遂げるよう要望。

②「観光名所」としてのみちづくり
全国から訪れる観光客が迷わず歩けるようわかり易い道案内を。

③「参道」としてのみちづくり
門前町としてふさわしいまちなみを。

④「祭りの舞台としてのみちづくり
年4回のお祭りに華やかな舞台として。

⑤「集客装置」としてのみちづくり
まちのベンチマークとなる立体的な構造物を。

⑥「市民の憩いの場」としてのみちづくり
住民同士のコミュニケーションをもっと気軽に。祓川の記憶を残す。

⑦「生活環境」としてのみちづくり
誰もが利用し易く、安全で快適な道作りを。植栽は自らの庭のように扱えるように。

お気づきの点、ご意見などお寄せ下さい。（鹽竈海道まちづくり研究会事務局；kensetuka@city.shiogama.miyagi.jp）

塩竈市まちづくり資金助成制度を利用しましょう！

・建物前面の敷瓦の設置
・門柱型照明の設置　以上を満たすと

50万円を助成

景観条例あります！

塩竈市では平成5年3月に門前町のたずまいを未来に残す為、「塩竈の景観を守り育てる条例」を制定しています。

第11条　市民及び事業者は、自らが景観を形成する主体であることを認識し、景観に関する意識を高めることにより、それぞれの立場から景観の形成に寄与するよう努めなければならない。

第12条　市民及び事業者は、市長その他の市の機関が実施する景観の形成に関する施策に協力しなければならない。

2　市民及び事業者は、建築物及び工作物の新築、増築、改築、修繕、模様替、色彩の変更若しくは土地の形状の変更又は緑の整備を行うときは、景観の形成に配慮しなければならない。

罰則はあるの？

罰則はありません。

が、他の新興住宅地と同じことをやっても、結果的に街並みが揃わず、外から来た方からは沿線の良さが理解されず、目的以外で訪れることが無くなり、賑わいとは縁遠くなるでしょう。

市内では建替等に対して補助を行っているのはこの沿線だけです。この機会を逃さぬよう、まずはアドバイスを受けてみては如何でしょうか？市役所土木課担当へ是非ご相談ください。

ごあいさつ

昨年3月に、市長から「歩道整備やまちづくりについての意見を、市や県に反映させることを目的として」、沿線の本町商店会、仁井町町内会、釜の前共栄会、宮町第一町内会の各会長へ依頼があり、各会長より推薦を受けた住民で「鹽竈海道まちづくり研究会」を設立しました。

自らの力で

研究会では西町地区をはじめ、他市町村の先進地の事例をもとに、今後のまちづくりに生かすべく様々な議論を行いました。私達は常に道路のことだけを考えている訳ではないので行政から「そこまでは出来ない」と言われるかと唯々諾々と従うしかないと思ったのですが、自らの力で見聞を広めていく事が重要であることがわかりました。また「まちづくり」は、その地域の住民が愛着と誇りをもって取組むべきであることも改めてこの研究会をとおして実感することになりました。

地域全体が調和の取れた平泉町

会員大募集！

研究会では沿線に住むまちづくりに関心のある方々を募集しております。会議は月に1・2回程度、夜7時から9時頃まで市役所宮町分室2階会議室（裏坂）で行っております。詳細はお住まいの町内会長、研究員、若しくは市役所土木課まで。

鹽竈海道まちづくり研究会
会長
丹野　六右衛門

街路整備は行政だけでも出来ませんし、住民だけでも出来ません。行政と住民が一体となって知恵を出し合い、百年後二百年後を見据えて自らの町の資源を活かしたまちづくりを目指していく所存であります。

お気づきの点、ご意見などお寄せ下さい。（鹽竈海道まちづくり研究会事務局；kensetuka@city.shiogama.miyagi.jp）